

地域と共に歩んだ五十年、そしてこれから

土井正昭

昭和五十年、地域の皆様並びに関係各位の
念願達成と期待のもと、山形市立南山形中学
校と山形市立本沢中学校が統合し、本校は産
声をあげました。これまでに六千名を超える
卒業生を輩出していきます。平成十九年度より
みはらしの丘小学校から卒業生（当時は十
一名）が入学するようになり、少子化の時代
にあって、毎年、生徒数が増加している学校
です。本校の校章には、開拓精神を土台とした地
域に清澄な文化を咲かせる教育を目指すとい
う意味を込め、竜胆の花と耕運機の歯がデザ
インされています。開校当時、校舎のみが整
備されたものの椅子はなく、統合前の中学校
から、当時の三年生が三kmを超える道のり
を運んできたと聞いています。新校舎に入る
ことのない卒業学年の生徒たちが、後輩のた
めに準備をしてくれたといふ熱意は、現在の
九中にも「ボランテイアの九中」という合
言葉通りに受け継がれていきます。教育目標

を	職	る	か	周	天	学	九	中		し	新	つ	を	え	組	究	送	和	「
目	一	子	を	年	命	び	中	「	私	た	た	な	目	る	み	や	教	五	「
指	同	ど	改	を	を	を	「	「	た	教	が	指	も	は	研	育	十	自	
し	で	も	め	迎	知	深	と	「	ち	育	っ	し	の	、	究	研	二	主	
て	共	た	て	え	る	め	い	う	は	活	て	て	で	現	発	究	年	・	
ま	有	ち	見	る	「	て	四	四	、	動	ICT	す	。誰	在	表	全	の	自	
い	し	に	つ	本	と	い	つ	の	「	の	教	。誰	も	の	が	国	こ	律	
り	な	今	め	校	の	ま	の	合	あ	充	育	も	取	と	行	大	と	創	
ま	が	求	直	に	言	す	言	言	い	実	に	り	残	で	わ	会	し	造	
す	ら	め	し	と	葉	。論	葉	中	さ	を	力	り	さ	た	れ	の	た	「	
。	、	ら	「	っ	が	語	を	「	つ	目	を	残	な	。こ	ま	会	。こ	掲	
	地	れ	地	て	あ	に	大	「	の	指	入	い	い	の	し	場	の	げ	
	域	る	域	の	り	は	切	「	九	し	れ	学	先	年	た	校	ら	れ	
	と	力	の	“	ま	「	に	「	中	歩	。令	習	驅	、	た	と	な	た	
	共	と	未	天	す	五	し	「	「	ん	和	の	け	本	の	り	年	は	
	に	は	来	命	。創	十	、	合	合	で	元	保	と	校	は	、	、	昭	
	歩	何	「	”	立	に	日	唱	唱	お	年	障	も	は	、	授	本	の	
	む	か	で	と	五	し	々	の	の	り	か	い	い	は	、	業	校	は	
	学	を	あ	は	十	て		ア	九	ま	ら	も	障	取	、	研	は	昭	
	校	教		何				の		す	は	も	障	り		研	放		